

感染症時代の再来と克服

講師 荒川宜親先生

わたくしたちは、新型コロナのパンデミックの真ただ中に生きています。3回目のワクチン接種、治療薬の登場もなかなか収束いたしません。古来、集団生活を送る社会内で感染が拡大して流行する感染症により、人類はたびたび危機に瀕してきました。わが国でも天然痘、麻疹、インフルエンザなどの感染症は“はやり病”として長らく恐れられてきました。

日本人は、古来感染症にどのように対峙してきたのか、荒川先生に「日本人を苦しめた感染症と新型コロナ」についてご講演いただきます。



はやり風用心
明治24年(1891)世界的なインフルエンザ流行時の錦絵

講師：修文大学医療科学部教授
荒川宜親先生
(元名古屋大学医学部教授)
場所：内藤記念くすり博物館
大ホール
日時：2022年5月19日(木)
9:30~11:00(開場9:00~)
人数：150名(当日先着順)
入場：無料

お問い合わせ先
内藤記念くすり博物館
TEL：0586-89-2101
開館時間：9:30-16:00
(最終入館15:30)
休館日：日曜/月曜



博物館HP

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、
中止となる場合がございます。